

公表:令和 3年 3月 25日

事業所名 児童デイサービスむぎのこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動の内容によって部屋を仕切って構造化しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国で定められた基準以上に職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の掃除に加えて1日3回ドアや手すりの消毒をしています。	水回りの劣化箇所を補修をして、より心地よく過ごせる環境を整えていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議、スーパービジョンを毎週行い、グループ、個々の目標設定と振り返りを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者と面談を行い評価を実施しました。	自己評価を受けての意向を業務改善へとつなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価と保護者向け評価はホームページ上で公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部のコンサルテーションを受けています。	外部のコンサルテーション受け、業務改善に努めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間の研修計画を立て、研修に参加しています。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者との面談や会議を通して発達段階やニーズを把握し、支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			クラス会議や支援会議を行い計画に合った支援を職員同士共有しています。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			朝の会、リズムを活動の軸に、運動会や発表会等の行事・設定遊び・制作遊び等を行っています。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前にその日の支援の役割分担を確認しています。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			午睡時間や支援の終了後にその日の支援で気づいた事などを話し合っています。	当日振り返りが出来なかったり、参加出来なかった職員には翌日伝えるようにしていきます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1回モニタリングを行い、支援計画の更新を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			児童相談所や保健センターなどの関係機関と連携しています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					

事業者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修参加した際や事業所訪問などで情報交換をしています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			法人内に設置している保育園と公園や行事などで交流しています。	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			母子通園時や電話などで状況を伝えあっています。	引き続き保護者とのコミュニケーションを大切にしていきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			個別や少人数でCSPの講座を行いました。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明書を用いて丁寧な説明を心掛けています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			面談を行い、児童発達支援計画を見ながら現在の状況と支援の内容を説明し、同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			月に1度、事業所内相談支援を行っています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母と先生の会として、職員も全員加入しています。	今年度は感染症対策として、バザーや忘年会は行いませんでした。対策を取りながら保護者の交流する場を設けていきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			緊急電話により開所時間外にも対応しています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			園だより、クラスだより等を毎月発行して活動の方針や予定などをお知らせしています。	引き続き、予定やクラスの様子等をおたよりにてお伝えしていきます。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報に関わる書類は鍵付きの書庫で保管しています。	
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			バザーの開催時は地域の方に大勢来園して頂いています。地域の方への挨拶を、職員も子どもも日頃から心がけています。	今年は、コロナ感染防止のためにバザーは開催しませんでした。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			各マニュアルを作成し、事業所に掲示し、訓練は毎月行っています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用開始前と、園医健診時に予防接種の状況を確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			クラスにアレルギーのある子が3名いるので、医師の指示書に基づき、母・給食室・クラスで連携し、除去食で対応しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人でヒヤリハットの分析をして、改善点を話し合っています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人で虐待防止委員会を設置し、法人研修で学び合い、週に1回はアンガーマネジメントのロールプレイを行い、法人全体で虐待防止に努めています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			児童発達支援計画に記載し、保護者に説明しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。